

国際音楽交歓コンサート

2025

令和7年度第75回高知県芸術祭メインイベント

10/8 (水) 18:30開演
(17:45開場)

高知県立県民文化ホール オレンジ
無料(要入場券)、全席自由1,507席(内 身体障害者用席8席)

[特別出演] 田村花枝 (小唄田村流師範)

■お問合せ: (公財)高知県文化財団 〒781-8123 高知市高須353-2
TEL.088-866-8013 (平日9:00~17:00)

10/9 (木) 18:30開演
(18:00開場)

安芸市民会館大ホール
無料(要入場券)、全席自由641席(内 身体障害者用席2席)

[特別出演] 安芸市民合唱団

■お問合せ: 安芸市教育委員会生涯学習課 〒784-8501 安芸市土居82-1
TEL.0887-35-1020 (平日9:00~17:00)

※出演者は変更になる場合があります
※会場によって出演者が異なります

INTERNATIONAL MUSIC EXCHANGE CONCERT



アッティラ・サウトフ
Violin

ヴァディム・チジク
Violin

Violin

フォルカー・ツヴェエチューク
Piano

アレクサンドル・ソロタレフ
Piano

Piano

Bass
スルタン・アブドゥラヒモフ

スターシャ
Soprano

Soprano

オリグ・ポリヤンスキー
Piano

日本大好き
スターシャ

コンサート関連動画を
YouTube で公開中!
STasha

応募方法 (両会場共通)

右記要領により
往復ハガキで
応募して下さい
□令和7年
9月20日(土)
消印有効

▶ 返信表面

85 781-8123
高知市高須
353-2
高知県
文化財団 行

抽選結果を
印刷しますので、
何れも記入しないで
ください

◀ 返信裏面

▶ 返信表面

85 00000000
応募者の
住所氏名を
記入ください

①郵便番号、住所
②氏名、電話番号
③申込人数
(1通2名まで)
④会場名
(高知市or安芸市)
⑤連絡事項
※車いす席や介助
者席の利用等

◀ 返信裏面

高知県芸術祭公式
ホームページからも
応募いただけます。
▶ <https://www.kochi-art.com>

●コンサートスケジュール

9月13日(土) 島根県(益田市) 島根県芸術文化センター・グラントワ
15日(月) 佐賀県(鹿島市) 鹿島市民文化ホール・SAKURAS(サクラス)
20日(土) 長崎県(島原市) 島原市有明総合文化会館
23日(火) 福島県(福島市) ふくしん夢の音楽堂
25日(木) 北海道(稚内市) 稚内総合文化センター・大ホール
28日(日) 秋田県(秋田市) 秋田・アトリオン音楽ホール
30日(火) 三重県(津市) 津リージョンプラザ・お城ホール
10月3日(金) 京都府(京都市) 京都コンサートホール・大ホール
5日(日) 鹿児島県(出水市) マルマエホール出水
8日(水) 高知県(高知市) 高知県立県民文化ホール オレンジ
9日(木) 高知県(安芸市) 安芸市民会館大ホール
12日(日) 富山県(氷見市) 氷見市芸術文化館
18日(土) 埼玉県(さいたま市) レイボックホール(市民会館おのみや)



(応募の 注意事項)

- 応募多数の場合は抽選とさせていただきます。
- 問い合わせ先は会場ごとに異なりますのでご注意ください。
- 当日は、必ず入場券(返信ハガキ等)をご持参ください。

- ご応募の結果は9月末日までに返信ハガキ等にてお知らせします。
- 未就学児の入場はご遠慮ください。

■主催: 公益社団法人 国際音楽交流協会 (<http://www.imea.or.jp/>)

(会員) 本願寺

井村屋グループ株式会社
ダイキン工業株式会社
大阪ガス株式会社
株式会社大原の里

■後援: 総務省 外務省 厚生労働省

文化庁 こども家庭庁
社会福祉法人全国社会福祉協議会
一般財団法人自治体国際化協会
公益財団法人日本ピアノ教育連盟

■協賛: 井村屋グループ株式会社

[高知地区]

■地区主催: 高知県 安芸市教育委員会 (公財)高知県文化財団

■地区後援: 高知県教育委員会 NHK高知放送局 高知新聞社
KBC高知放送 KUTVテレビ高知 KSSさんさんテレビ
KCB高知ケーブルテレビ エフエム高知

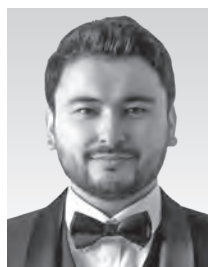
■お問合せ: (公財)高知県文化財団 〒781-8123 高知市高須353-2
TEL. 088-866-8013 (平日9:00~17:00)



オレグ・ポリャンスキー (ピアノ)
Oleg Poliansky

1968年キエフ(ウクライナ)に生まれる。キエフ中央音楽学校を経て1986年グネーシン音楽大学に進んだ。1991年より1993年までモスクワ音楽院でS.ドレンスキーに師事する。モントリオール国際音楽コンクール(1988年)第3位、第11回チャイコフスキー国際コンクール(1998年)第6位等数多くの国際コンクール

で入賞を果たす。ケルン音楽大学で教鞭をとった後、現在はロシア、ウクライナ、ドイツ、イタリア、アメリカ、オーストラリア等世界中で演奏活動を行っている。



スルタン・アブドゥラヒモフ (バス)
Sultan Abdurahimov

1994年ナマンガン(ウズベキスタン)に生まれる。ウズベキスタン国立音楽院で研鑽を積み、国際コンクール「ペラ・ヴォーチェ」(2017年)におけるグランプリ受賞を始め、若手演奏家のための国際コンクール「ロマンシアダ」(2017年)第1位、ヴィシネフスカヤ国際オペラ・コンクール(2023年)第2位等、数々の国内、国際コン

クールにおいて入賞を果たす。2022年、グネーシンロシア音楽アカデミーの修士課程に進み、M.カザコフに師事した。現在、アリシエル・ナヴォイ記念国立アカデミー大劇場(ナヴォイ劇場)でソリストを務める。



アッティラ・サウトフ (ヴァイオリン)
Atilla Sautov

タシケント(ウズベキスタン)に生まれる。父の指導の下、4歳でヴァイオリンを始め、5歳で初めて公の場で演奏を披露した。タシケント国立音楽大学を経て、フォルクヴァング芸術大学(ドイツ)で更なる研鑽を積んだ。全ソビエトヴァイオリンコンクール(ウクライナ)、パリス・ドヴァリョーナス国際青少年ピアノ&ヴァイオリンコンクール(リトアニア)、チヴァ国際ヴァイオリンコンクール(ウズベキスタン)と、3つの国際・国内コンクールで立て続けに優勝した。また、ケルン・フィルハーモニーホール(ドイツ)を始め、オタワ国立芸術センター(カナダ)、香港芸術センター(中国)、マドリッド・センター・コロソ(スペイン)、シドニー・オペラハウス(オーストラリア)等、世界中の主要音楽ホールで数多くのリサイタルやオーケストラとの共演を果たす。現在、アメリカを拠点に世界中で精力的に演奏活動を行う。



ヴァディム・チジク (ヴァイオリン)
Vadim Tchijik

モスクワに生まれる。6歳でヴァイオリンを始め、8歳で初リサイタルを行った。チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院附属中央特別音楽学校を卒業した。その後、フランスへ移住しリヨン国立高等音楽院(フランス)を首席で卒業、引き続きケルン国立音楽大学院(ドイツ)で更なる研鑽を積んだ。パガニーニ国際コンクールをはじめ、数多くの国際コンクール等で入賞を果たす。

また、モスクワ交響楽団、メキシコ交響楽団、ハリコフ・フィルハーモニー管弦楽団、群馬室内管弦楽団等、世界中で数々のオーケストラとの共演を行った。これまでに、フランス、ドイツ、イタリア、ベルギー、イギリス、スイス、オランダ、スペイン、ポルトガル、ルクセンブルク、スウェーデン、ロシア、アメリカ、カナダ、メキシコ、日本、トルコ、ブルガリア、ポーランド、イスラエル、レバノン、マレーシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ビルマ、ドミニカ共和国、ハイチ等、世界中で演奏活動を行った。現在、パリのエコール・ノルマル音楽院の教授として、後進の指導にあたる傍ら、精力的に演奏活動をこなす。



アレクサンドル・ゾロタレフ (ピアノ)
Alexander Zolotarev

サンクトペテルブルグ(ロシア)に生まれる。5歳でピアノを弾き始め、サンクトペテルブルク音楽院を経て、ケルン音楽大学(現ケルン音楽舞踊大学)で更なる研鑽を積んだ。ロシアやイタリアをはじめ数多くの国際コンクールで入賞歴がある。1991年にシュレースヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭に招待され、ドイツ連邦共和国大統領の前でリサイタルを行った。ドイツ移住後、1999年から現在までジーゲン大学で教授を務める傍ら、ドイツ国内をはじめ、ヨーロッパ各国やアメリカ等で精力的な演奏活動を行う。また、2001年からシュマレンベルクの室内楽フェスティバルの芸術監督を務める。

共和国大統領の前でリサイタルを行った。ドイツ移住後、1999年から現在までジーゲン大学で教授を務める傍ら、ドイツ国内をはじめ、ヨーロッパ各国やアメリカ等で精力的な演奏活動を行う。また、2001年からシュマレンベルクの室内楽フェスティバルの芸術監督を務める。



フォルカー・ツヴェチュケ (ピアノ)
Volker Zwetzchke

旧西ドイツに生まれる。幼少からピアノを学び、ベルギーの作曲家、ジャクリヌ・フォンテインの助言により演奏家への道を選んだ。デトモルト音楽大学卒業後、アイナル・ステーン=ノックレベルグに師事し更なる研鑽を積んだ。また、同時期に、ヴェストファーレン・ヴィルヘルム大学で哲学を学んだ。1996年から2011年までピアノデュオ“IN VIA”のメンバーとして活動し、第6回グリーク国際コンクール(オスロ)において、第一位(オスロ賞)、グリーク賞、聴衆賞、スポンサー賞の4賞を受賞した。現在、後進の指導を続ける傍ら、ヨーロッパを中心に世界各国での演奏活動や国際コンクールの審査員を務める等、精力的に活動している。

旧西ドイツに生まれる。幼少からピアノを学び、ベルギーの作曲家、ジャクリヌ・フォンテインの助言により演奏家への道を選んだ。デトモルト音楽大学卒業後、アイナル・ステーン=ノックレベルグに師事し更なる研鑽を積んだ。また、同時期に、ヴェストファーレン・ヴィルヘルム大学で哲学を学んだ。1996年から2011年までピアノデュオ“IN VIA”のメンバーとして活動し、第6回グリーク国際コンクール(オスロ)において、第一位(オスロ賞)、グリーク賞、聴衆賞、スポンサー賞の4賞を受賞した。現在、後進の指導を続ける傍ら、ヨーロッパを中心に世界各国での演奏活動や国際コンクールの審査員を務める等、精力的に活動している。



スターシャ (ソプラノ)
STasha

モスクワに生まれる。モスクワ音楽院アカデミック音楽カレッジを経て、グネーシン記念音楽アカデミーでワズネツォワ氏に師事した。ミュージック・ウィズアウト・リミッツ(2013)、リトアニア共和国)第1位入賞、ミュージカル・パフォーマンス・アンド・ペダゴギー(2014、イタリア)第1位入賞等、数々の国際コンクールでの入賞歴を持つ。

2011年からグネーシン劇場のオペラスタジオでソリストを務めた。ロシア国内をはじめイタリア、フランス、ドイツ、スイス、カザフスタン、ベトナム、日本等、世界中で精力的な演奏活動を行っている。大の親日家であり、2015年の初来日以降41道府県76市町村に於いて延べ約150公演を行った。また、2021年に「日本大好きスターシャ」としてYouTubeチャンネルを開設し、童謡、唱歌、都道府県歌、演歌、歌謡曲等、日本文化を広く発信している。

クラシックって楽しいな!

(2015~)

当協会では、より多くの皆様にクラシック音楽を身近に感じて頂くことを目的に、クラシック音楽に関連する面白い情報を掲載したパンフレットを作成し、日本全国約1,250箇所の音楽ホールや当協会主催事業等の会場、当協会のホームページ(<http://www.imea.or.jp/>)を通じて広く国民の皆様に配布しています。このパンフレットは宝くじの公益法人助成事業(社会貢献広報事業)として一般財団法人日本宝くじ協会より助成を受けています。



2024年
発行



【楽器編】 【作曲家編】 【名曲編】 【オーケストラ編】



【音楽家編】 【オペラ編】 【珍楽器編】 【楽譜編】 【都道府県民歌編】

【合唱編】

日本大好きスターシャが

うた
歌って
人みた!

YouTube で公開中!
STasha

